

令和2年度 資源・漁獲情報ネットワーク構築事業 報告書

大課題名：資源情報集約ネットワーク

海域名(中課題名)：水揚げ情報収集システムの開発

【参画機関】

一般社団法人 漁業情報サービスセンター
水産研究・教育機構 水産資源研究所

【対象魚種】

【対象漁業】

沿岸・沖合・定置網等

【実施計画】

1)水揚げ情報収集システムの開発

平成30年度ならびに令和元年度に実施した漁協販売システムの調査結果と、自治体における水揚げ情報収集の状況調査などを踏まえて検討した基礎設計情報を元に、水揚げ情報収集システムの構築を行う。システム構築の際に、複数の漁業協同組合を選び、データ収集を行う試験を開始する。また大課題「沿岸資源情報ネットワークⅠおよびⅡ」と連携し、本システムの利用を希望する自治体および漁業協同組合に対し、引き続き漁協の販売システムによるデータ抽出と本システムへのデータ送信のための調査を継続し、本システムで必要な追加機能および漁協の販売システムで必要な追加機能の検討を行い、データ収集地点を広げるための取り組みを実施する。

【今年度の成果】

平成30年度ならびに令和元年度に実施した漁協販売システムの調査結果と、自治体における水揚げ情報収集の状況調査などを踏まえて検討した基礎設計情報を元に、水揚げ情報収集システムの構築を行った。システム構築の際に、新潟県と神奈川県を対象とし、それぞれ複数の漁業協同組合を選び、データ収集を行う試験を開始した。新潟県および神奈川県それぞれについて、県統一魚種コードおよび漁業種類コードについて提案を行い、さらに魚種および漁業種類について全国版のコード作成作業を行なった。

大課題「沿岸資源情報ネットワークⅠおよびⅡ」と連携し、福井県、大阪府、徳島県、高知県について、漁協の販売システムによるデータ抽出と水揚げ情報収集システムへのデータ送信のための調査を行い、本システムで必要な追加機能および漁協の販売システムで必要な追加機能の検討を行

い、データ収集地点を広げるための取り組みを行った。さらに、本システムを今後全国からのデータ収集に対応するための調査を行った。

【事業期間全体の成果】

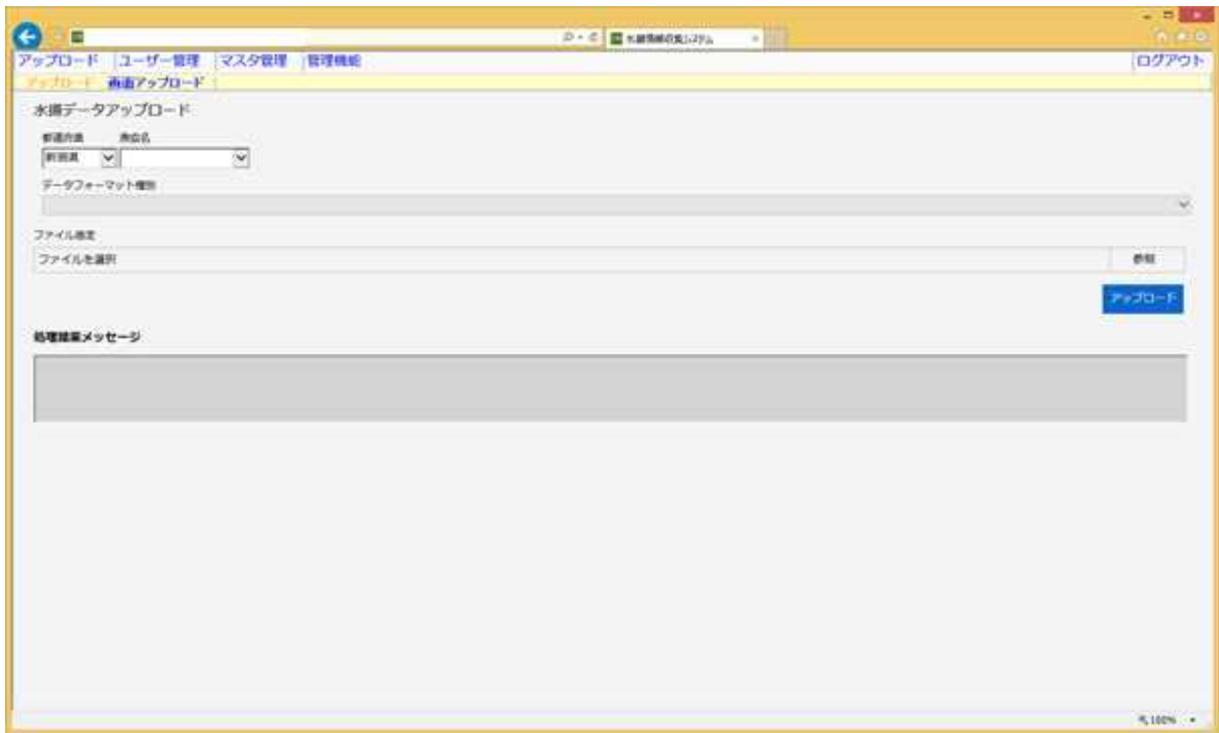
- ・新潟県では、新潟漁業協同組合、上越漁協協同組合、佐渡漁業協同組合において、神奈川県では、江の島片瀬漁業協同組合、葉山町漁業協同組合、横須賀市大楠漁業協同組合、横浜市漁業協同組合、静岡県では、いとう漁業協同組合、下田漁業協同組合、小川漁業協同組合、愛知県では、豊浜漁業協同組合、西三河漁業協同組合、渥美漁業協同組合、三重県では、三重外湾漁業協同組合、鳥羽磯部漁業協同組合において現行業務分析作業、システム分析作業を行った。これらの分析をもとに、目標設定・課題を整理し、水揚げ情報収集システム導入時の新業務・新システムフローのパターンを定義した。またシステムの概要の作成を行った。
- ・作成したシステムの概要をもとに、水揚げ情報収集システムを構築した。さらに新潟県と神奈川県を対象とし、それぞれ複数の漁業協同組合を選び、データ収集を行う試験を開始した。
- ・今後水揚げ情報収集システムへの参加を希望している福井県、大阪府、徳島県、高知県について、漁協の販売システムによるデータ抽出と水揚げ情報収集システムへのデータ送信のための調査を行なった。

【実施概要】

- ・水揚げ情報収集システムを構築した。さらに新潟県と神奈川県を対象とし、それぞれ複数の漁業協同組合を選び、データ収集を行う試験を開始した。具体的には、新潟県は、新潟漁業協同組合、上越漁業協同組合、佐渡漁業協同組合、神奈川県は小田原魚市場、真鶴協同組合、横須賀市大楠漁業協同組合、長井町漁業協同組合、みうら漁業協同組合の販売システムのデータを収集できるようにした。魚種および漁業種類について全国版のコード作成作業を行なった。また新潟県および神奈川県それぞれについて、県統一魚種コードおよび漁業種類コードについて提案を行い、さらに県統一コードから全国版のコードへの変換表の作成作業を行なった。
- ・福井県、大阪府、徳島県、高知県について、漁協の販売システムによるデータ抽出と水揚げ情報収集システムへのデータ送信のための調査を行い、本システムで必要な追加機能および漁協の販売システムで必要な追加機能の検討を行い、データ収集地点を広げるための取り組みを行った。福井県については水産試験場における漁獲情報収集・提供のための業務の現状の調査、知事許可漁業の漁獲成績報告書の現状について調査し、水揚げ情報システムとのデータ連携に向けた課題整理について整理を行った。現在福井県が行っているデータ修正の方法についてヒアリングを行なった結果、販売システムにおいてマイナス訂正を行わずに漁獲量を修正している可能性があることがわかった。現在構築している水揚げ情報収集システムでは、販売システムから出力されるデータには更新削除が行われない(例えば削除する場合にはマイナスの値を追加する)ことを前提としてお

り、今後マイナスデータを発生させずに訂正を行なっている現状についてより詳細な調査を行った上で、必要に応じて水揚げ情報収集システムにおいて一定期間のデータを削除と再登録を行える機能を追加する必要があることがわかった。大阪府では、深日漁業協同組合、泉佐野漁業協同組合、大阪府鰯巾着網漁業協同組合において、現行業務分析作業、システム分析作業を行った。セリの段階で重量を測定していないため、現状の販売システムにおいて、魚種別の金額のみ集積しているところがあることがわかった。このような組合については、月単位で平均単価のヒアリングを行った上、重量に換算している。現状、重量に換算できているのは月単位であり、日単位では金額の情報しか無い。このような場所では、月単位の平均単価を使って日別漁獲量を出力できるように販売システムを改修して対応する案を提示した。また市場を通らない水揚物については、別途収集方法を検討する必要があることがわかった。徳島県では、椿泊漁業協同組合、小松島漁業協同組合、阿南中央漁業協同組合において、現行業務分析作業、システム分析作業を行った。徳島県では、中央市場の業者に直接出荷することがあり、それらのデータを収集する体制は今後検討が必要であるが、まずは現在電子データで収集できている漁業協同組合から連携を準備した方が良いという結論になった。データの集約方法については、県で集約してから水揚げ情報収集システムと連携する方法、漁業協同組合から直接水揚げ情報収集システムにデータを集める方法の2種類提示した。また現在徳島県で行っているデータ修正作業について、今後水揚げ情報収集システムで対応できる範囲とできない範囲の切り分けを行う必要があることがわかった。高知県では、高知県漁業協同組合、すくも湾協同組合において、現行業務分析作業、システム分析作業を行った。魚種や漁業種類が複雑な漁協はほぼ無いものの、現場からは全国共通魚種を作るべきという意見もだされた。またシステム化が遅れると漁協のサービスの品質低下に直結するため、事務系の統一＋市場の電子化には早く取り掛かりたいとのことであった。高知県では、高知県漁業協同組合、すくも湾協同組合が先行して水揚げ情報システムに参加できる可能性があることがわかった。

【図表など】



水揚情報収集システム データアップロード画面（画面指示によるファイル送信）

水揚情報検索・更新

都道府県: 北海道 | 漁協: 富士通漁協 | 漁業者/船名: 富士通丸 | 入力日: 2020/05/01 | 水揚/荷受日: 2020/05/01 ~ 2020/05/30

魚種: 001 | 漁業種類: 001

検索結果 601 - 800件 / 3000件

明細追加 | 新規複数登録 | ダウンロード | 検索表示

No.	別除	入力日	都道府県	漁協	漁業者/船名	水揚/荷受日	魚種	漁業種類	合計重量 (kg)	備考
601	<input type="checkbox"/>	2020/05/15	北海道	富士通漁協	富士通丸	2020/05/01	001	ブリ	20	これはサンプルです。
602	<input type="checkbox"/>	2020/05/15	北海道	富士通漁協	富士通丸	2020/05/01	001	ブリ	20	これはサンプルです。
603	<input type="checkbox"/>	2020/05/15	北海道	富士通漁協	富士通丸	2020/05/01	001	ブリ	20	これはサンプルです。
604	<input type="checkbox"/>	2020/05/15	北海道	富士通漁協	富士通丸	2020/05/01	001	ブリ	20	これはサンプルです。
605	<input type="checkbox"/>	2020/05/15	北海道	富士通漁協	富士通丸	2020/05/01	001	ブリ	20	これはサンプルです。
606	<input type="checkbox"/>	2020/05/15	北海道	富士通漁協	富士通丸	2020/05/01	001	ブリ	20	これはサンプルです。
607	<input type="checkbox"/>	2020/05/15	北海道	富士通漁協	富士通丸	2020/05/01	001	ブリ	20	これはサンプルです。
608	<input type="checkbox"/>	2020/05/15	北海道	富士通漁協	富士通丸	2020/05/01	001	ブリ	20	これはサンプルです。
609	<input type="checkbox"/>	2020/05/15	北海道	富士通漁協	富士通丸	2020/05/01	001	ブリ	20	これはサンプルです。
610	<input type="checkbox"/>	2020/05/15	北海道	富士通漁協	富士通丸	2020/05/01	001	ブリ	20	これはサンプルです。

更新 | 別除

< 1 ... 3 4 5 ... 10 >

水揚情報収集システム 都道府県水揚情報検索・更新画面

【実施に当たっての問題点】

・漁業協同組合の販売システムにおいてマイナス訂正を行わずに漁獲量を修正している可能性があることがわかった。現在構築している水揚げ情報収集システムでは、販売システムから出力されるデータには更新削除が行われないことを前提としている。今後マイナスデータを発生させずに訂正を行なっている現状についてより詳細な調査を行った上で、必要に応じて水揚げ情報収集システムにおいて一定期間のデータを削除と再登録を行える機能を追加する必要がある。

・漁業協同組合の販売システムから出力されるデータに、金額等は入力されているが、重量が入力されていないものがあることがわかった。このようなデータを水揚情報収集システムに集まった後に一括して修正する必要がある、水揚情報収集システムにおけるデータ修正機能については、今後各都道府県におけるデータ修正を調査して組み込む必要がある。

・今後全国に対象を広げる場合には、それぞれの漁業協同組合の販売システムで使用している魚種コードおよび漁業種類コードの調査を実施し、都道府県別コードの作成と全国版コードへの変換表の作成が必要である。

【資源調査評価事業に受け渡す事項】

特になし

【成果の発表】

・中神正康，渡邊一功，市川忠史，清水学，黒木洋明，藤井涼子（投稿中）資源・漁獲情報ネットワーク構築事業における水揚げ情報収集システムの構築，黒潮の資源海洋研究.